

治療と仕事の両立を支援

都志見病院に相談窓口開設

がんや糖尿病、脳卒中、肝疾患などの患者が治療を受けながら仕事を続けるための相談窓口が、都志見病院に開設された。この窓口は、山口産業保健総合支援センター（独立行政法人・労働者健康安全機構）が運営するもので、県内で9カ所目。同センターから派遣される両立支援促進員などが、労働者である患者本人のほか、

人事労務担当者など事業者からの相談にも応じる。同センターによると、相談内容は「がんと診断されたが仕事を続けたい」「病気のことを会社になく

伝えられない」といったものから両立支援のための職場環境整備（時間単位の休暇や病休制度の導入など）まで幅広く、場合によっては患者と職場や医療機関との橋渡しも担うという。相談日は毎月第3水曜の午前10時から午後1時まで。事前予約は不要だが、予約した人を優先す

る。場合によっては、相談日以外の対応も可能。都志見病院の患者に限らず、誰でも相談できる。都志見病院地域連携室では「北浦地域の医療環境を充実させる一助になれば。お気軽にご相談ください」と呼び掛けている。問い合わせは都志見病院（0838・222811）へ。

まち歩き情報番組

Smile

おたからマップを片手にまち歩きをするSmile。番組には、「おたからマップとは、NPO法人

萩まちじゅう博物館が中心となつて作成した「まち歩きマップ」のこと。公式ホー

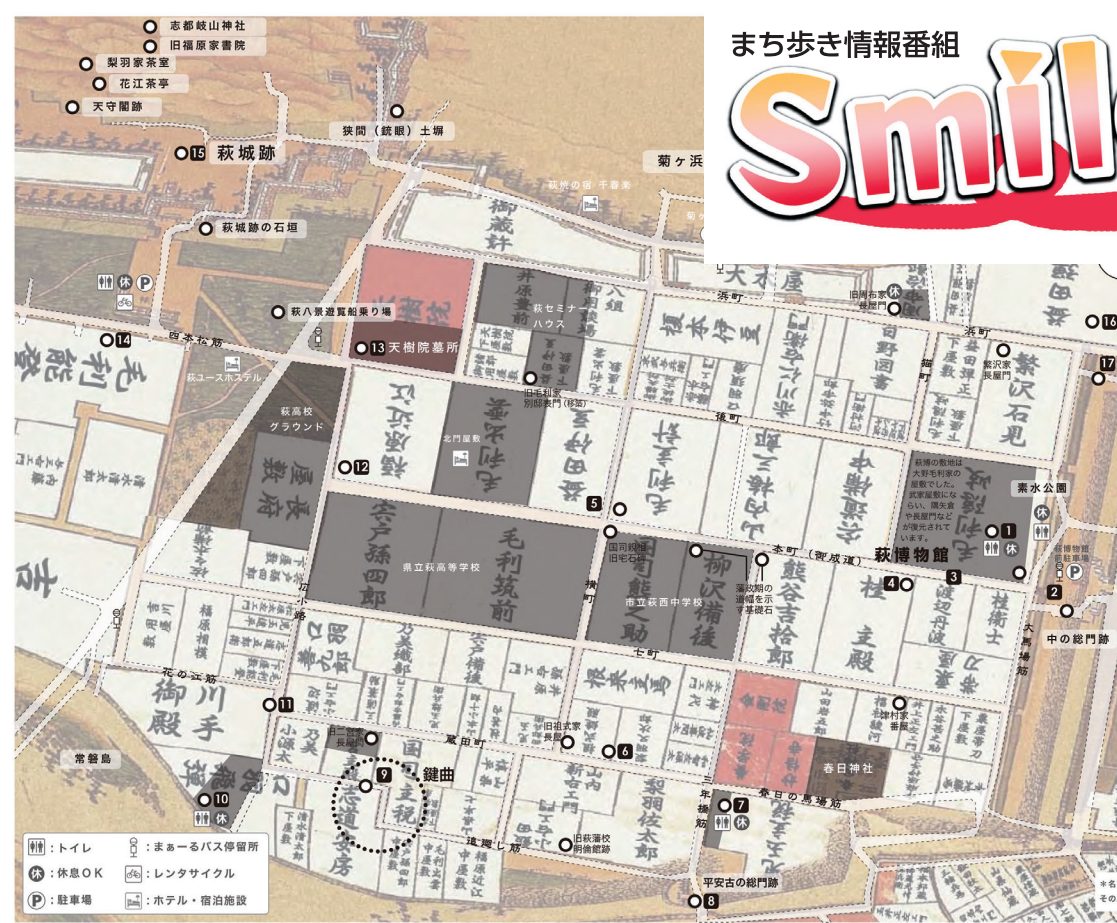
ムページには現在、26種類のおたからマップが掲載されている。8月のSmileでは、城下町の風情が色濃く残る堀内伝建地区を、古地図を頼りに散策する。

堀内地区にはかつて、萩城三の丸として萩藩の重臣たちの屋敷地が広がっていた。現在も萩博物館や萩高校、萩西中学校など、当時の区割りをほぼそのまま利用した施設も多い。

また、堀内の鍵曲や旧児玉家長屋門、旧益田家物見矢倉をはじめとする当時の建物や白壁、土塀が多く残されており、江戸時代にタイムスリップしたような景観を楽しむことができる。萩博物館のグルメも紹介する。

月曜～日曜
正午～ほか放送中

まち歩き情報番組
Smile



■古地図を片手に萩を歩こう 豪壮な武家屋敷の面影～堀内伝建地区～（部分）

編集発行：萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

おたからマップ（まち歩きマップ）は、萩まちじゅう博物館のホームページ

(<https://www.city.hagi.lg.jp/site/machihaku/list131-466.html>) からダウンロードできます。